

港区議会議員

にしま 二島とよじ

活動レポート

■発行/自民党議員団所属 二島豊司
港区白金1-13-11 ときおかビル2F
TEL.03-3449-7328 FAX.03-3444-6933

走る!
動く!
変える!

Nishima Toyoji Activity report

2011年
新春

二島とよじの活動テーマ

まちと人がもっと輝く!

昨年も皆様には、様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂きましたことに、心から感謝申し上げます。本年も皆様の声を受け、港区のまちと人がさらに輝く、諸々の政策の前進に取り組みます。精一杯、頑張ります!

▶ 昨年は港区にとっても、大きな転換点。その理由は…。

平成22年度は港区にとって、大きな転換点となる年となりました。近年の港区財政は、堅調な特別区民税収入に支えられ、きわめて順調な推移を続けてきた結果、積み立てられた基金残高は1400億円に至りました。

しかしリーマンショックに端を発した急激な景気後退の影響を受け、一転、平成22年度は、区民税収入が大幅に減収し、13年ぶりに財政調整基金を取り崩して予算を編成する状況に至りました。そしてこの状況はしばらく続くことが予想されます。

▶ 転換期に求められる発想とは…。会派を代表し、区長に要請!

このような状況下にこそ、これまで蓄えた基金を有効に活用し、区民生活に資する、きめ細やかな施策の実施を求めると同時に、あらゆる事業に関して、改めて区民のニーズを的確に捉え、効果的・効率的な事業への見直しを図り続けることを求めています。

昨年10月、平成21年度決算審議の態度表明では、自民

党議員団を代表し「区長以下職員の皆さんの熱意、そして協働の叡智を結集して、この厳しい環境を乗り越えるべく、区民満足度の向上を図ること」を強く要望しました。

▶ 原点に思いをいたし、積極果敢に行動します。

区民の皆様が、実感として感じていただけるためにも議会の場で皆様の思いを、しっかり伝えていくことの大切さを今改めて感じています。4月には任期満了にともなって、区議会議員選挙が実施されます。これからも引き続き、皆様の「声」を区政に届けていけるよう全力で頑張ってまいります。一層のご指導・ご鞭撻をお願い致します。



港区議会議員 二島 豊司

なお、公職選挙法の取り決めにより、議員は新年の挨拶を規制されておりますので、何卒、ご了解下さい。

お知らせ

①ブログはアメブロに移転しました。

活動や日々の思いを発信しています。どうぞご覧下さい。コメントも是非どうぞ。

<http://ameblo.jp/nishimatoyoji/>



②Twitterを始めました。

まだ、始めたばかりですが、よろしければフォローお願いします。

<http://twitter.com/nishimatoyoji>



港区議会議員

二島とよじ 38歳

eメール どうぞご意見をお寄せ下さい。

nishima@toyoji.jp

Close
Up

二島とよじの活動を振り返る

平成19年～平成22年

▶ 心のバリアフリー推進を提案(福祉政策)

平成22年第3回定例会では障害者グループホーム・ケアホームを、既存の区有施設に併設することを提案。「障害者施策は障害を持つ方だけに向けられるものではなく、取り巻く社会全体のもの」と考え、ノーマライゼーションの理念を確立し、障害のあるなしに関わらず、安心して暮らせる地域社会の実現を一貫して訴えてきました。

▶ 新たな融資制度を実現(産業支援策)

工場主や商店会加盟店等、区内の中小事業者が、安心して事業を続けていけるためにも二島とよじは、平成20年第3回定例会で、区内で業歴を重ねてきた事業者に対する支援策を講じることを求めました。これがもととなり、平成21年度に新たな融資制度として、「永年継続事業者優遇金利制度」が創設されました。1年生議員である二島とよじの提案が、区の施策として実現できたことは、新聞にも取り上げられ、各方面から高い評価を戴きました。

▶ 小児救急医療で新提案(小児医療制度)

芝浦に愛育病院が移転することが決まり、周産期から小児にかけての高度な救急医療体制が、一層強化されることとなります。

一方、全国的には深刻な小児や救急専門の医師不足が大きな問題となっています。二島とよじは、持続可能な小児救急医療体制を構築するため、休日・夜間における重症患者と軽症患者を分離する視点からの体制整備を提案。区独自の小児初期救急医療の実施を求めています。

▶ 安全対策・地域の要望(インフラ整備)

安全に資するインフラ整備に取り組んでいます。古川や運河を有する港区には多くの橋がありますが、中には、耐震上の問題があったり、歩道幅が十分に確保されておらず、日々の通行に支障をきたしているものも見受けられます。地域の安全を確保するため、皆様のご意見を踏まえ、整備促進を求めて参ります。

その他、二島とよじが議会で行った質問・提言の抜粋

● H22年第3回定例会決算特別委員会(2010.9.16~10.9)

災害発生時の初動態勢について、障害者グループホーム・ケアホームの整備について、母子健康教育、うさちゃんくらぶの定員拡大について等

● H22年予算特別委員会質問(2010.2.24~3.18)

小児医療における高度医療と休日・夜間などの救急医療体制について、災害対策住宅整備について、観光振興事業について等

● H21年第4回定例会代表質問(2009.11.26)

分権改革と港区政について、後期高齢者医療制度について、区立学校の果たすべき役割について、中小零細企業における母親の復職支援について等

● H21年第3回定例会一般質問(2009.9.16~10.9)

子育てプランアドバイザーの設置について、待機児童解消の具体策について、ペットマナーの啓発について等

● H21年第2回定例会一般質問(2009.6.11)

地域に密着した国際交流・国際理解教育の取り組みについて、公園・児童遊園の緑地化について、学校施設と子育て支援機能の融合について等

● H21年第1回定例会予算特別委員会(2009.3.6~3.17)

朝日地区の今後の子育て支援・児童育成事業について、ワークライフバラ

ンスの啓発について、周産期医療に関する広域的な取り組みについて等

● H20年第3回定例会決算特別委員会(2008.9.29~10.8)

議会の活性化に向けた一般質問のあり方について、業歴を有する事業者への支援制度の創設、教育委員会が積極的に地域情報を収集する必要性について等

● H20年第3回定例会一般質問(2008.09.19)

これからの区民参画のあり方について、田町駅東口北地区施設整備における「ひろば」と運河の一体性の確保について、古川の環境整備について等

● H20年予算特別委員会(2008.3.3~3.7)

心のバリアフリーの推進について、産業クラスター支援「まなび屋」を青少年の健全育成に有効に活用する取り組み等

● H19年第4回定例会一般質問(2007.11.30)

地方分権改革、心のバリアフリーの推進について、製造業者支援・事業継承支援・産業支援について、都市整備(田町駅東口北地区)について等

● H19年第3回定例会決算特別委員会(2007.9.13~10.4)

子供の安全の向上について、在宅育児保育支援について、都市整備(田町駅東口北地区、橋りょう耐震化)について、校外学習支援について等

質問と答弁全文は下記ホームページをご覧ください。

二島豊司(にしま・とよじ)プロフィール

●昭和47年(1972年)生まれ●栃木県出身●早稲田大学法学部卒●サラリーマン～衆議院議員・梶山弘志(元・内閣官房長官 衆議院議員故・梶山静六の長男)秘書●NPO法人・先端政策研

究機構主任研究員●ボーイスカウト港17団(港区白金)のリーダー、ガールスカウト東京94団(港区白金)をサポートするリーダーとして子供たちのためにボランティア活動中●障害者スイミングクラブ・ボランティア●平成19年4月、港区議会議員初当選●家族は妻と1男(平成20年12月誕生)

二島とよじ連絡先

- 事務所/〒108-0072 港区白金1-13-11 ときおかビル2階
- 自宅/〒108-0073 港区三田5-7-12-707

TEL.03-3449-7328 FAX.03-3444-6933
TEL.&FAX.03-5443-5477

二島とよじ ホームページ

<http://www.toyoji.jp/>

eメール

nishima@toyoji.jp